

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/>  
\*伊豆の国市公式ホームページからもリンクしています



『ぼくらは夜にしか会わなかった』市川拓司 (著) / 祥伝社  
ぼくがついた小さな嘘が、2人の夜の探索の始まりだった。だけど、教室の悪意が彼女の心に突き刺さり…。表題作ほか、せつない祈りに満ちた純愛小説集。【葦山】

『帝王、死すべし』折原一 (著) / 講談社  
息子・輝久の部屋で見つけた1冊のノートには、『帝王』によるいじめの記録が綴られていた。日記に仕掛けられた謎と、驚愕のサスペンス。【長岡】

## 図書館だより

\*【 】内は所蔵館名

『城を噛ませた男』伊東潤 (著) / 光文社  
土下座して生き抜くか、任務に徹するか。表題作のほか、伊豆葦山から北条家に取り立てられ、秀吉、家康に仕えた御伽衆を描く『江雪左文字』など戦国物語5編。【中央】

『用心棒日暮し剣』波燃える 池永陽 (著) / 角川書店  
開国前夜の江戸。浪人・橘周介は黒船斬りこみを決意する。刺客の襲撃、謎多き娘。時代に翻弄される青年を描く長編。【葦山】

**問合せ**

【中央図書館】 ☎ 0558-76-5566  
毎週月曜日休館

【長岡図書館】 ☎ 055-947-2364  
毎週月曜日休館

【葦山図書館】 ☎ 055-949-8605  
毎週水曜日休館

《各館開館時間 9:00 ~ 17:30》  
各館の休館日 (年末・年始含む) は、今月のカレンダー一や、市ホームページなどをご覧ください。

**おはなし会**

中央…2月4日(土) 11:00 ~  
長岡…2月16日(木) 14:30 ~  
葦山…2月25日(土) 14:00 ~

対象 / 赤ちゃん~小学校低学年くらいまで(申し込み不要)。



『ひめねずみとガラスのストーブ』安房直子 (作)、降矢なな (絵) / 小学館  
風の子が買ったのは、すてきなストーブでした。そして、だいじな友だちもできたのです。【長岡】

## この著者で読む！ テーマ 夫婦で作家

折原一と新津きよみは、どちらも人気のミステリー作家です。夫婦共作の『二重生活』【中央・葦山】は復讐を企む愛人と裏切った男の、息詰まる駆け引きを描く心理ミステリー。人間の恐怖心とミステリーを絡めた作品も多いのですが、2人の作品を読み比べてみると、面白いかもしれません。

小池真理子と藤田宜永夫婦は、執筆活動をスタートさせたジャンルは異なりますが、推理小説から、やがて恋愛小説にジャンルが移っていったのは似ています。小池氏は『恋』【葦山・長岡】で第114回直木賞を、藤田氏は『愛の領分』【全館】で第125回直木賞を受賞しました。夫婦共作のエッセイは、その名も『夫婦公論』【中央】。ちなみに『夫婦口論』【中央】を書いた三浦朱門・曾野綾子も夫婦作家です。

夫婦で執筆活動をしているという作家は、意外と多いようです。今回はその中から、3組のご夫婦を紹介します。

阿部和重と川上未映子は昨年入籍し、「芥川賞受賞作家同士が結婚」と話題になりました。阿部氏の受賞作『グランド・フィナーレ』【全館】は、その後の『シンセミア』『ピストルズ』【中央】と舞台や設定を共有し、『神町サーガ』と呼ばれるシリーズになっています。また、『和子の部屋』小説家のための人生相談【中央】は、阿部氏が角田光代や江國香織など女性作家10人の悩み相談に応じるというユニークな対談集。川上氏との対談も収録されています。

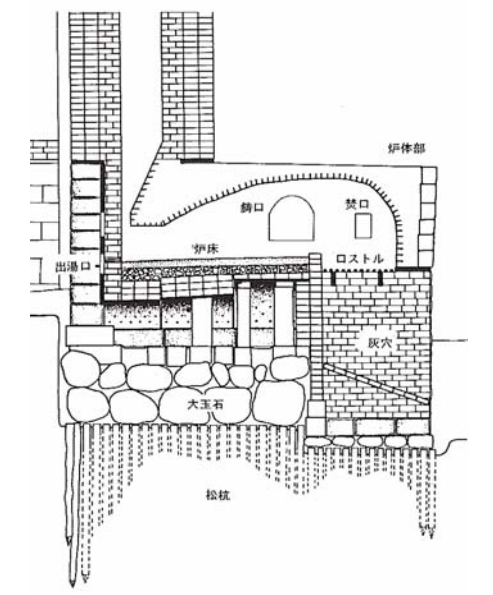
**スタッフ通信**

図書館には時々、小学生や幼稚園児がクラスで見学に来ます。「たくさん本がある！」「隠れた部屋がある！」と、『図書館のひみつ』にちょっとだけ触れた子どもたちの笑顔。でもね、『ひみつ』はまだまだあるんですよ。(図書館司書 新生)

安政1年(1854年)3月の、内侵入事件を受けて、反射炉は急遽田方郡中村、つまり現在の場所に造られることとなりました。幕府の命を受けて、建造途中だった本郷村現下田市)の反射炉および敷地内の小屋などは解体され、使えるものは船で新しい建設地に回送されました。沼津から狩野川を遡り、南條村の河岸から荷揚げされた石や煉瓦、木材などは、中村の人足たちによって、陸路現場まで運ばれました。

中村での反射炉築造工事は、同年の7月1日、天野村(現伊豆の国市天野)の石工忠蔵らによる土台となる石の据え付けと、松杭の打ち込みから始まりました。閏7月18日に

の、反射炉本体は大地震に耐えたのです。葦山反射炉が、頑丈な土台の上に建てられていたことがわかります。21世紀を迎えた今日まで、反射炉が建ち続けてきた大きな理由のひとつは、この土台の堅固さです。『安政の大地震』です。遠州灘御前崎沖を震源とするこの大地震によって、房総半島から四国に至る太平洋沿岸地域は、巨大津波に見舞われました。特に下田の被害は激しく、港と町のほとんどが流失したといわれています。



反射炉の基礎構造 (断面図)



反射炉御取立中日記  
安政1年11月4日条  
(財団法人江川文庫蔵)

問合せ 文化振興課 歴史資源活用推進室  
☎ 055-949-8609

**文化財通信**  
その80 葦山反射炉の築造記録 (その2)

は耐火煉瓦の積み上げ開始、8月6日には江川垣庵による現場視察、9月には左官による漆喰塗りの作業が始まるなど、工事は着々と進められていきました。

とつは、このしつかりとした基礎工事だったと言えるでしょう。(その3に続く)

\*他の記録によると、安政の大地震は五つ時(午前8時頃)に発生したとされています。

**文化協会**  
だより 70

文化協会主催 『ふれあい祭り』のご案内

市文化協会の中でも芸能部門の会員が出演する『ふれあい祭り』を開催します。皆さんお誘いのうえ、ご観覧ください。

**公演名**  
伊豆の国市文化協会 ふれあい祭

**とき**  
2月19日(日)  
9時開場 9時30分開演

**ところ**  
葦山時代劇場 大ホール

**出演団体**  
歌唱部門 5団体  
舞踊部門 11団体  
演奏部門 11団体

**問合せ**  
文化振興課  
☎ 055(949)8600

